

静岡市長

難波 喬司 様

清水地区の観光に関する現状と課題

(久能山東照宮整備に対する要望)

令和 5 年 8 月 29 日(火)

魅力ある清水を創る会

魅力ある清水を創る会
会長 小長谷 修誠

魅力ある清水を創る会は、清水地区の地域経済の活性化とまちづくりに資する為に、静岡商工会議所の外郭団体として活動しております。

2019年に、市長に要望書を提出させて戴いておりますが、特に地域特性を活かした観光に関しましては、残念ながら顕著な進展は見えておりません。

コロナ禍の混乱が落ち着き、クルーズ船の清水港入港が復活し、海外の訪問客が急激に増加する一方で、国内に於いても、大河ドラマの影響もあり、大幅に観光客が増えている状況を踏まえ、早期に受け入れ体制を改善・充実させたいとの思いで有志も巻き込んで検討を重ねております。

この度、添付の通り、久能山東照宮の施設の至急の改善をお願いするについて、是非ともお聞き届け戴きたいと存じます。しかしながら、清水地区の問題は、久能山東照宮の改善だけでは解決するものではありません。私どもの検討項目はいくつかありますが、交通アクセス、長時間滞在・出来れば宿泊をする環境、久能街道と日本平を結ぶロープウェイと道の駅の併設などが、特に重要であると考えています。

重要課題の一つ 交通アクセスですが、清水地区には、歴史の舞台にもなりました、清見寺、鉄舟寺、梅陰寺、龍華寺や世界遺産を構成する三保の松原、世界的にも著名な広重の美術館などがあります。それがバスなどの交通ネットワークで有機的に結びついておらず、観光客を受け入れる体制にはほど遠いと申せます。

旧静岡市には、駿府浪漫バスが周遊サービスを行っています。また、最近では歴史文化博物館と大河ドラマ館を結びつけるバスサービスがあります。これらは、静岡市が民間企業と契約をし、民間企業に負担を掛けない様に運行がされています。

しかるに、旧清水市には、旧静岡市の様なスキームの周遊サービスはありません。特定の拠点を結びつける様なサービスがありません。結果として、観光の中心にすえる日本平/久能山東照宮へのバス路線は、清水駅から日本平ロープウェイ駅までの直行便はなく、東静岡駅や静岡駅で乗り換えるサービスしかなく、実に到着まで、1時間～3時間を要します。

日本平ロープウェイ駅と三保の松原へは、頻度もそうですが、通常そのまま向かえば、20分～30分程度の距離ですが、静岡駅や東静岡駅での乗り換えで、2時間以上を要します。

この様な環境で、観光客を誘致と叫んでも、掛け声倒れと申せます。

清水駅に降り立った方々が交通ネットワークを利用して、簡単に観光地を訪れる事が出来る環境の構築が、清水地区でも求められていると考えます。

市長が常々仰られている、「根拠と共創」の根拠の部分で、現在整理しており、その上で前述の課題に関する要望書を別途 提出させて頂く所存です。

若干、時間を要する関係で、今回は 久能山東照宮の施設改善要望を先行して提出させて頂きます事、ご理解を戴きたく存じます。

また、何とぞ、この地域の活性化の取り組みにご理解とご支援を賜ります様お願い申し上げます。

2023 年 8 月 29 日

静岡市長
難波 喬司 様

住 所 静岡市駿河区根古屋 3 9 0
要望者 宗教法人 久能山東照宮
代表役員 宮司 姫岡恭彦
電 話 0 5 4 - 2 3 7 - 2 4 3 8

久能山東照宮整備に対する要望書

記

静岡市におかれましては、史跡久能山東照宮整備計画において特別なご配慮をいただき、また現在進行中の一之門、山下鳥居修理へのご協力、感謝申し上げます。

さて、現在の久能山整備は市も参画いただき作成された「史跡久能山整備計画」（以後、「整備計画」と記述）に則して進められているのですが、年初の NHK 大河ドラマ開始以降、またクルーズ船の寄港の復活に伴い、来訪者が急激に増加しております。しかしながら、参拝客の多様化するニーズへの対応、インバウンド客への対応が出来ておらず、特に快適性、利便性、安全性の観点で至急の改善が必須であると考えております。

つきましては、当方で整備が必要と考えられる項目を以下に取り纏めました。内容をご確認いただき、市のこれまでの計画に追加および変更を戴き、多くの参拝客が過ごしやすい環境整備をお願い申し上げます。（添付資料 図 1、図 2 参照）

1、時代に即した「便所（山上）」の早急な更新（整備計画に項目としては記載あり）

既存便所（山上）は国際的な基準に則した施設とはいいがたく、計画では更新予定がこれから五年先の 2029 年度となっておりますが、如何せん遅すぎます。至急の整備を要望いたします。（添付資料 図 3 参照）

さらに「神饌所横便所」についても、整備計画に記載はありませんが同様の改善を要望いたします。

2、「屋内山上休憩施設」の新設（新規整備要望事項）

現在は、曇天時、雨天時の日本平には魅力がなく、天候に左右されない久能山東照宮がある意味唯一の景勝地・史跡と申せます。しかしながら、雨天時に雨を凌げる場所がありません。また、急な荒天時などに山上で避難・休憩できる施設也没有ありません。快適性に加え安全性確保の観点からも至急の整備を要望いたします。

添付イメージ図では遺構保存の観点から山上便所併設案をご提示させていただいております。

（添付資料 図 3 参照）

3、「屋外山上休憩施設」の拡充（新規整備要望事項）

現在、混雑時山上屋外に十分な休憩空間がありません。山上で眺めの良い快適な屋外休憩広場を整備することで本施設の魅力、快適性は向上、さらに、この広場は緊急時の一時滞留場所として防災上も機能すると思料いたします。

添付資料 図4では景観に合った木デッキでの休憩スペース拡張及び売店を更新、さらには「旧浅間神社社務所」を休憩所へと内部改修した姿を描いており、この実現をお図り戴けるよう要望いたします。

4、日本平ロープウェイ久能山駅へのアプローチ改善（新規整備要望事項）

社務所横広場から久能山駅へのアプローチは、足腰の弱った外国人や高齢者への対応が求められる現代の国際的な基準に則しておらず、極めて急な階段となっており、危険であると申せます。国際基準にそぐわない状況が続けば、クルーズ客から悪い評判が広がり、オプションルツアーのメニューから外され、久能山東照宮の魅力を世界に発信できなくなります。下部の遺構に配慮した上でエレベーター・エスカレーターの設置など機械化が喫緊の課題であり、至急の整備改善を要望いたします。

以上

図 1 ・ ・ 社務所周辺整備建築物配置図

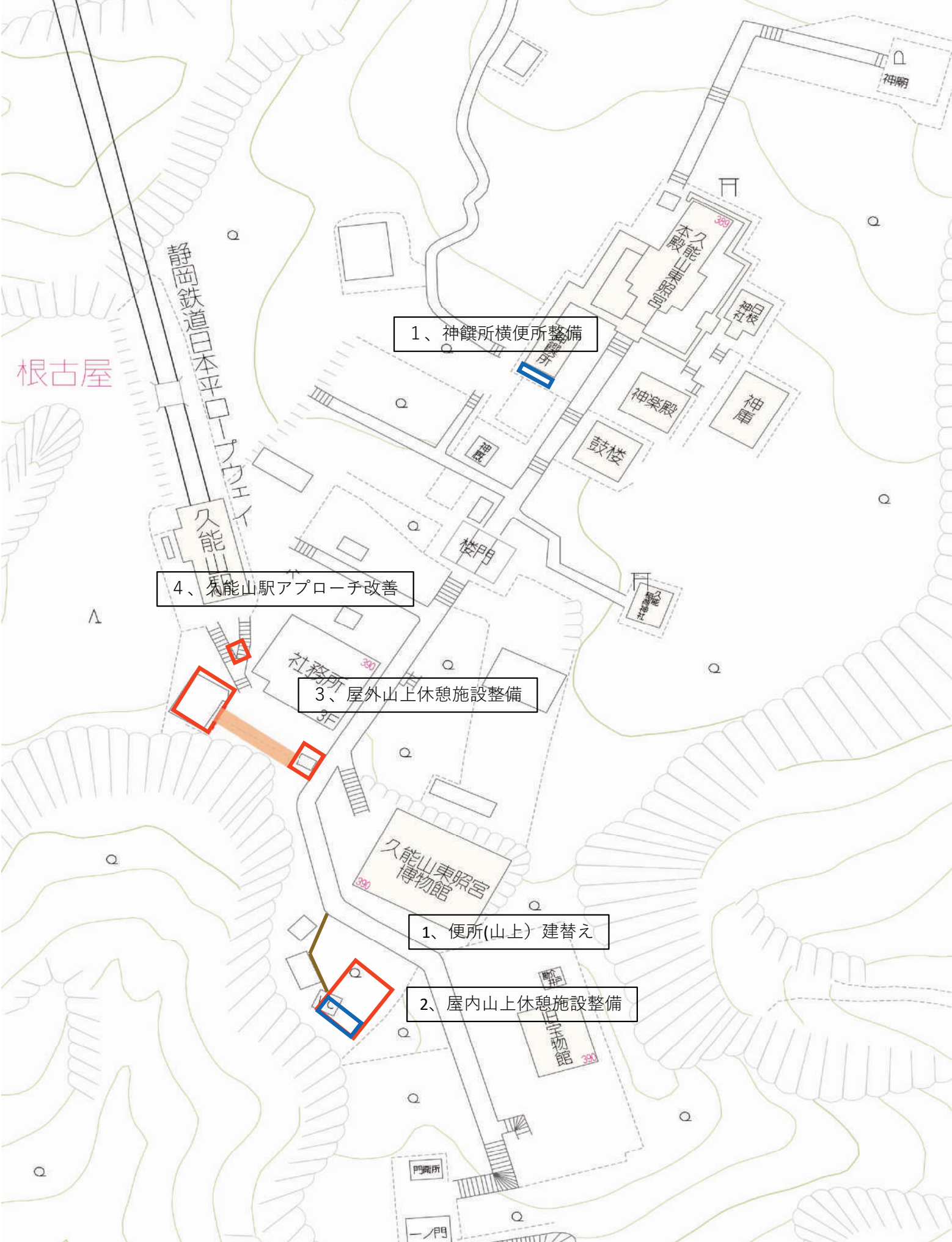


図 2 ・ ・ 社務所周辺将来整備計画イメージ

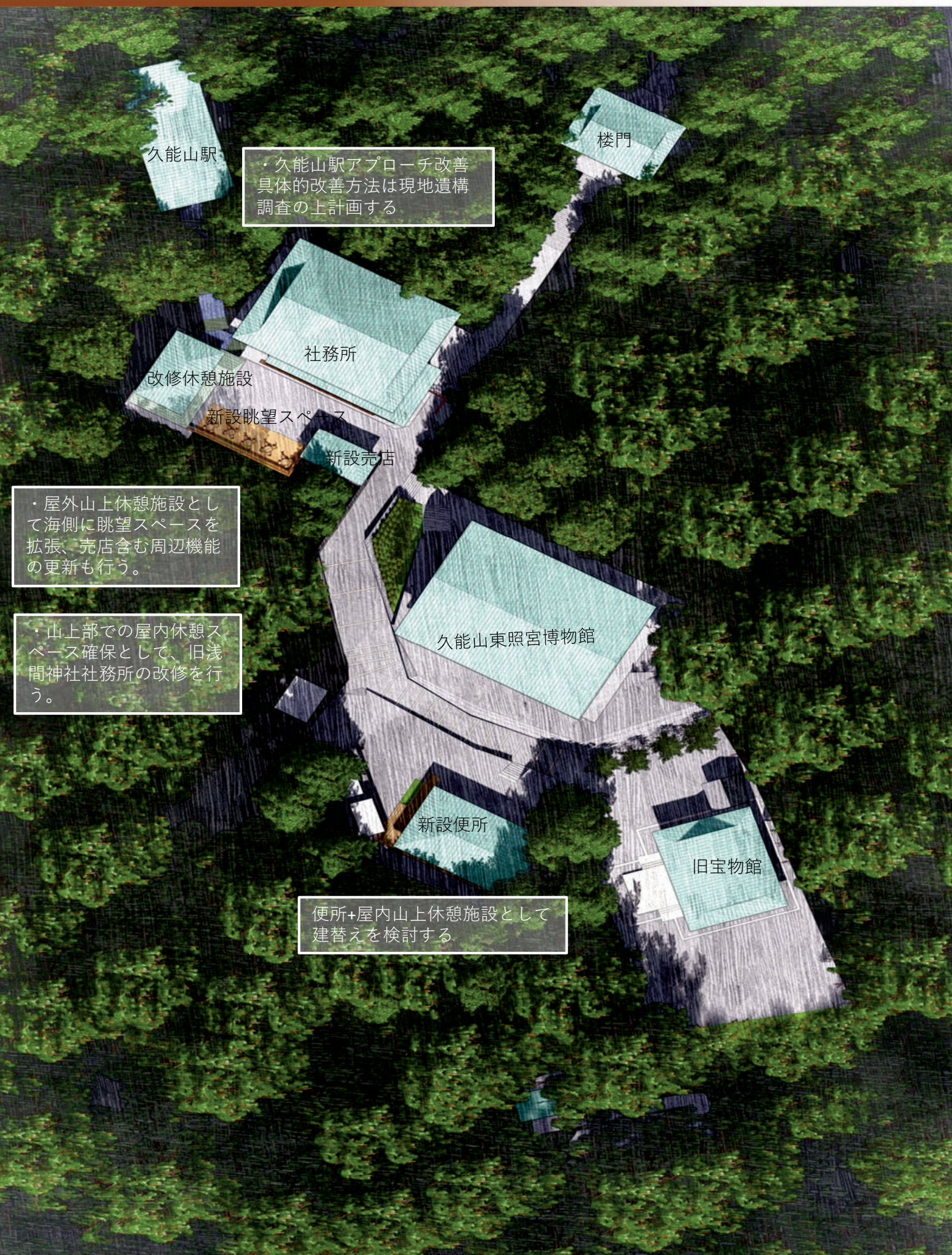


図 3 ・ ・ 休憩所併設便所（山上）イメージ



◆休憩所併設便所施設建替え案

現整備基本計画書記載のトイレ整備位置に便益施設としての休憩所を併設した建屋を建設する案。

トイレは授乳スペースなど最新のニーズに即した機能を検討する。

また施設建設にあたっては高床とするなど、地下遺構に配慮した構法を採用、現状露出となっている受電設備などを新設施設及び周辺木フェンスで隠蔽することも可能となる。

図４・・・社務所前広場整備後イメージ



◆上イメージ図での改修メニュー

- ・旧浅間神社社務所の改修
内部を休憩スペースとして、土間化やトイレ増設などの改修を検討する。
- ・眺望スペース拡張と売店の建替え
海側へ眺めの良い屋外休憩スペースを木デッキ設置などで拡張する。
山上休憩スペース全体のデザイン整理、機能の充実として売店の建替えも検討する。

資料 1

1、参拝客数の推移

コロナ禍がほぼ終息、R4年1月より始まった「どうする家康」の影響もあり、参拝者数はコロナ禍以前を超え大きく伸びている。さらには清水港でのクルーズ船寄港増により、インバウンド増加も含め年間100万人に達する見込みである。

久能山東照宮年度別参拝者数

4月 ご鎮座 400年大祭												令和5年度 6月末状況
年度	25	26	27	28	29	30	31・元	2	3	4	5	
月												
4	32,650	35,970	36,405	31,540	33,165	36,800	42,890	3,750	16,925	22,150	45,205	
5	40,950	41,850	47,930	41,155	41,670	36,870	50,240	4,040	16,755	33,680	60,370	
6	25,345	24,210	27,225	24,240	22,995	23,805	24,630	7,330	7,135	11,145	42,510	
7	23,685	19,550	21,210	22,415	22,370	31,475	31,290	6,570	9,615	9,580		
8	29,750	29,545	30,980	29,910	31,060	29,250	28,710	13,895	9,230	22,340		
9	26,670	28,595	33,545	21,030	25,730	21,395	24,180	16,210	8,865	15,510		
10	33,308	31,455	42,895	28,297	27,875	29,950	25,090	21,130	21,415	24,645		
11	45,192	38,230	37,870	30,433	33,060	38,235	36,825	28,665	33,050	39,750		
12	21,010	17,398	21,890	22,080	11,230	25,965	19,920	17,550	27,130	29,130		
1	65,470	62,516	66,070	63,320	64,315	69,090	65,620	32,060	56,990	75,800		
2	27,425	36,375	34,920	31,115	31,330	33,420	31,380	18,435	18,620	46,230		
3	43,350	46,860	41,440	41,740	40,080	41,455	22,055	20,635	29,190	48,340		
年度合計	414,805	412,554	442,380	387,275	384,880	417,710	402,830	190,270	254,920	378,300	148,085	
外国参拝者	12,700	15,935	21,295	22,880	21,590	25,765	19,665	1,140	950	4,100	4,300	

2、久能山東照宮における来訪者の傾向・・静岡県中部5市2町来訪者調査(2022年度)より抜粋

当施設における来訪者は施設そのものと展望に高い評価を行っている事、小さな子供連れの家族、60代、70代の来訪者が一定の割合でいることが分かる。

・施設の外観について

問2-3-2 施設の外観 (単一回答)	回答数 (人)	選択率 (%)
0 (薦めない)	0	0.0
1	1	0.3
2	1	0.3
3	1	0.3
4	1	0.3
5	15	5.0
6	9	3.0
7	21	6.9
8	70	23.1
9	37	12.2
10 (薦める)	147	48.5
有効回答人数	303	100.0

・施設からの展望について

問2-3-1 施設からの展望 (単一回答)	回答数 (人)	選択率 (%)
0 (薦めない)	1	0.3
1	0	0.0
2	2	0.7
3	1	0.3
4	0	0.0
5	10	3.3
6	14	4.6
7	24	7.9
8	63	20.8
9	50	16.5
10 (薦める)	138	45.5
有効回答人数	303	100.0

・訪問者の年齢について

問5-2 訪問者の年齢 (単一回答)	回答数 (人)	選択率 (%)
10代	3	1.0
20代	25	8.3
30代	25	8.3
40代	57	18.8
50代	97	32.0
60代	78	25.7
70代	18	5.9
80代以上	0	0.0
有効回答人数	303	100.0

・施設の家族構成について

問1-3 回答者と同行者の関係 (複数回答)	回答数 (人)	選択率 (%)
なし(1人旅)	40	13.2
家族・親族(小学生以下がいる)	46	15.2
家族・親族(小学生以下はいない)	143	47.2
恋人・パートナー	34	11.2
友人・知人	38	12.5
仕事関係	6	2.0
地域や趣味の仲間	3	1.0
その他	2	0.7
有効回答人数	303	—

資料 2

3、施設の現状と課題

- ①便所（山上）・・・国際的な歴史ある観光地のトイレとしてデザイン性、清潔感の向上、オールジェンダーや多目的な利用に対する機能、アメニティー性の充実が必要と思われる。



- ②神饌所横便所・・・入口は男女共通、内部は簡単な隔てによる区画となっている。



資料 3

- ④屋外休憩場所・・・現状、博物館、社務所及びロープウェイ久能山駅入口周辺でベンチ5か所、47人分、有料区間には、あまり広い空間はなく、楼門から廟所宝塔までベンチ10か所、30人分が分散して配置されている。特に参拝上の起点となる社務所横広場は眺めも良く人が集まるスペースではあるが最大26人程度とロープウェイゴンドラ客47人にも満たない容量となっている。また、それらのベンチはすべて屋外であり、参拝者にとって気分のすぐれない時や急な荒天時に避難や休憩できる屋内休憩所はない状況である。



⑤ロープウェイ久能山駅アプローチ

社務所横広場からロープウェイ久能山駅へのアプローチは非常に急な階段となっている。

